

- 問1 室町時代、足利義満などの将軍から厚い保護を受けたことで、観阿弥・世阿弥の親子が芸術性の高い舞台芸術へと発展させた伝統芸能を何とい
いますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 歌舞伎 2. 能 3. わび茶 4. 人形浄瑠璃
- 問2 室町時代に行われた日明貿易において、正規の貿易船であることを証明し、当時「倭寇」と呼ばれた海賊と区別するために導入された「合い札」
の名称を答えなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 勘合 2. 割符 3. 朱印状 4. 飛脚問屋の鑑札
- 問3 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。このように、わざわざ特別な札を照らし
合わせる仕組みを取り入れた本来の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. キリスト教の宣教師が日本へ密入
国するのを厳重に監視するため 2. 日本国内の商人が勝手に海外へ銀
を輸出することを禁止するため 3. 明からの輸入品である鉄砲や火薬
に高い関税をかけるため 4. 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる
海賊による船を明確に区別するため
- 問4 北山文化を代表する建築物である金閣（鹿苑寺舍利殿）の構造について、当時の文化的背景を説明したものとして適切な記述を選択してくださ
い。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 法隆寺などの古代建築に倣い、大
陸の唐風文化の影響のみを強く受け
た仏殿の構造となっている。 2. 書院造という質素な武家の住居様
式に、茶の湯の精神を取り入れた「
わび・さび」を象徴する構造となっ
ている。 3. 寝殿造という公家好みの様式と、
禅宗様という武士が帰依した宗教の
様式が融合した構造となっている。 4. 城郭建築の天守閣のような威容を
持ち、南蛮文化の影響を受けた豪華
絢爛な装飾が施されている。
- 問5 室町時代に禅宗寺院の様式を武家の住居に取り入れたことで成立し、床の間や障子、部屋全体に敷きつめられた畳などが特徴である建築様式を
何といいますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 書院造 2. 寝殿造 3. 合掌造 4. 校倉造
- 問6 15世紀の略年表に、禅僧である雪舟が明へ渡ったという記録があります。彼が当時の中国で学んだ技法を基に、日本において大成させた芸術様
式はどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 水墨画 2. 浮世絵 3. 大和絵 4. 唐絵
- 問7 室町時代後期の京都において、戦乱からの復興とともに、高度な技術を用いた絹織物生産が特に盛んになった地域はどこですか。 (2023年
香川県公立入試 類似)
1. 近江 2. 堺 3. 西陣 4. 博多
- 問8 琉球王国が「万国の架け橋」として、東アジアと東南アジアを結び貿易で大きな利益を上げることができた理由を説明したものとして、最も適
切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 日本の室町幕府の保護下に入り、
勘合を用いて中国との独占的な貿易
権を行使したため。 2. 独自に東南アジア諸国を征服し、
現地の特産品を自国の特産品として
中国へ輸出したため。 3. 鉄砲やキリスト教を日本へ伝える
窓口となり、ヨーロッパ諸国との直
接貿易を独占したため。 4. 中国への朝貢貿易を通じて得た品
物を、日本や東南アジアの諸地域へ
転売する役割を担ったため。
- 問9 室町幕府が酒屋や土倉といった業者を保護し、特別な権利を与えていた政治的・経済的な背景を説明したものとして適切なものはどれか。
(2026年 長野県公立入試 類似)
1. 農業の生産性を向上させるための
新しい技術を、これらの業者が独占
的に開発していたから 2. 封建的な身分制度を維持するため
に、武士以外の層が力を持たないよ
う監視させたから 3. これらの業者から税を徴収するこ
とが、幕府にとって極めて重要な収
入源となっていたから 4. 海外との貿易を管理するために、
これらの業者に全ての輸出入を委託
していたから
- 問10 室町時代の農村で見られた自治組織である「惣」の活動内容として、正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 有力な農民が庄屋となり、領主の
代理として村の政治をすべて取り仕
切った。 2. 都市の商人と連携し、特定の商品
の販売独占権を得るための組合を作
った。 3. 村独自の掟（定）を定め、寄合を
開いて村の運営について話し合った
。 4. 江戸幕府の命令により、年貢の納
入を連帯責任で行うことを義務付け
られた。
- 問11 室町幕府が勘合（勘合符）を用いてまで、明との貿易を管理・継続した経済的な目的として、貿易品の特徴から推察される理由を次の中から選
びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 国内の銅や硫黄の生産量が過剰に
なり、それらを処分するために明を
唯一の廃棄先として利用していたか
ら。 2. 明の皇帝から贈られる生糸や陶磁
器をすべて寺社に寄進し、宗教勢力
を幕府の支配下に置くための手段と
していたから。 3. 明から輸入される綿織物が国内の
武士の軍服として不可欠であり、幕
府がその流通を独占して権威を高め
るため。 4. 国内で貨幣を鋳造する技術や体制
が整っていないかったため、明から輸
入した銅銭を国内に流通させる必要
があったから。
- 問12 室町時代、足利義満が明との間で始めた貿易では、当時「倭寇」と呼ばれた海賊による私貿易船と、幕府が認めた正式な貿易船を区別する必要
がありました。このとき、二枚に分割された合札を照合することで、正式な船であることを証明した道具を何といいますか。 (2017年 大阪府公立入試
類似)
1. 手形 2. 朱印状 3. 割印 4. 勘合（勘合符）
- 問13 室町時代に明との貿易を行う際、日本側が「勘合」と呼ばれる札を使用した目的を説明したものとして、最も適切なものを選択してください。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 国内の銅銭が不足したため、銅の
流出を厳しく管理するため 2. 正式な貿易船と、倭寇（わこう）
と呼ばれる海賊船を区別するため 3. 元（モンゴル）の再来に備え、明
と軍事同盟を結ぶための証拠とする
ため 4. キリスト教の布教を目的とした宣
教師の入国を制限するため
- 問14 室町時代に山口を拠点とした有力な大名である大内氏の保護を受け、中国（明）に渡って学んだ技法をもとに、四季の風景などを墨一色で表現
する水墨画を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 運慶 2. 千利休 3. 狩野永徳 4. 雪舟

答え合わせ・解説

問1	答え 2 能	観阿弥・世阿弥の親子は、それまでの猿楽などを洗練させ、現在の形に近い「能」として大成させました。時の権力者である足利義満が彼らの才能を認め、幕府の保護を与えたことが、この芸能が独自の美意識を持つ芸術として確立される大きな要因となりました。
問2	答え 1 勘合	足利義満が明の皇帝と国交を結んで始めた日明貿易では、明が発行した「勘合（勘合符）」という札が使用されました。この札は、当時東アジアの沿岸部で略奪を行っていた倭寇と、幕府が公認した正規の貿易船を明確に判別するための道具です。日本側と明側がそれぞれ半分に分けた札を持ち、港でそれらを突き合わせて照合したことから、この貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。
問3	答え 4 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊による船を明確に区別するため	当時の東アジア沿岸部では、倭寇と呼ばれる海賊集団による略奪行為が深刻な問題となっていました。明の皇帝から倭寇の取り締まりを求められた足利義満は、明との正式な国交を樹立したうえで、半分に割った「勘合」という札を互いに照らし合わせる方法を採用しました。これにより、正規の貿易船であることを証明し、密貿易や海賊行為を防ごうとしたのがこの貿易の大きな特徴です。
問4	答え 3 寝殿造という公家好みの様式と、禅宗様という武士が帰依した宗教の様式が融合した構造となっている。	金閣は、一階が平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造、三階が禅宗の寺院様式で造られており、建物全体に金箔が貼られています。これは足利義満が公家と武家の双方を統制する権力者であったことを象徴しており、北山文化の「融合」という特徴を如実に表しています。足利義政が推進した東山文化の質素な書院造とは対照的な性格を持ちます。
問5	答え 1 書院造	室町時代の東山文化において、禅宗の僧侶の居室の造りが武士の生活様式と結びついて生まれました。足利義政が建てた銀閣（慈照寺）の東求堂同仁斎はその代表的な遺構であり、現代の和室の原型として知られています。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造と混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 水墨画	雪舟は明で直接中国の山水画を学び、それまでの模倣に留まらない、日本の自然観に根ざした力強い構図の水墨画を確立しました。浮世絵は江戸時代の町人文化、大和絵は平安時代に発達した日本風の絵画を指すため、時代背景が異なります。
問7	答え 3 西陣	応仁の乱の際、西軍の本陣が置かれた場所に職人たちが集まり、絹織物業が発展したことから「西陣」と呼ばれるようになりました。西陣の織物は京都の町衆の経済基盤を支える重要な産業となりました。選択肢にある堺や博多も自治都市として有名ですが、これらは港町としての性格が強い都市です。
問8	答え 4 中国への朝貢貿易を通じて得た品物を、日本や東南アジアの諸地域へ転売する役割を担ったため。	琉球王国は明（中国）に対して頻繁に朝貢（貢ぎ物を持参しての外交）を行い、中国との間に安定した貿易ルートを持っていました。そこで入手した高度な中国製品を、当時需要が高まっていた日本や、独自の産物を持つ東南アジア諸国へ運んで売買取引の仕組みを構築したことが、繁栄の背景にあります。これにより、東アジアから東南アジアにまたがる広大な交易圏が形成されました。
問9	答え 3 これらの業者から税を徴収することが、幕府にとって極めて重要な収入源となっていたから	室町幕府は当初、直轄領からの収入が乏しかったため、都市で経済力をつけた酒屋や土倉に注目しました。彼らに営業上の特権を与える見返りとして、継続的に税（酒屋役・倉役）を納めさせることで、幕府の運営資金を確保する仕組みを作りました。
問10	答え 3 村独自の掟（定）を定め、寄合を開いて村の運営について話し合った。	惣の最大の特徴は農民による「自治」にあります。村の重要事項は「寄合」と呼ばれる会議で決定され、「惣掟」という独自のルールに基づいて運営されました。時には領主に年貢の減免を求めて土一揆を起こすなど、強い団結力を持ちました。選択肢にある連帯責任の仕組みは江戸時代の五人組の説明です。
問11	答え 4 国内で貨幣を鋳造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。	日明貿易の大きな特徴の一つは、日本が「銅銭」を大量に輸入していた点にあります。当時の日本国内では、平安時代末期から続く貨幣経済の進展に対し、自前で信頼性の高い貨幣を鋳造する体制が不十分でした。そのため、幕府は明との貿易を通じて得た銅銭を国内の決済手段として活用し、経済の安定と拡大を図りました。これが、倭寇（海賊）と区別するための勘合を用いてまで貿易を独占・管理した重要な経済的動機です。
問12	答え 4 勘合（勘合符）	足利義満は明の皇帝からの要求を受け、倭寇を鎮めることを条件に日明貿易を開始しました。この貿易では、あらかじめ日本側と明側で半分に分けた「勘合」という紙を所持し、港でそれらを突き合わせて一致するかを確認する仕組みが導入されました。これにより、幕府の許可を得ていない倭寇による密貿易を排除しました。
問13	答え 2 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため	当時の東シナ海では倭寇による海賊行為が横行しており、明はこれに強く抗議していました。足利義満は明との国交を樹立するにあたり、明から発行された「勘合」という帳簿の割り印を照合することで、正式な朝貢貿易船であることを証明しました。これにより、私的な貿易や海賊行為を排除する仕組みが作られました。
問14	答え 4 雪舟	室町時代には禅宗の影響を受けて、墨の濃淡で自然を描く水墨画が発展しました。雪舟は山口の大内氏の支援で明に留学し、帰国後は日本独自の様式を確立しました。山口県には雪舟が築いたと伝えられる庭園も残されており、当時の大名が文化人を招いて地域文化を振興させた様子を物語っています。